

平成 19 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 中央物産株式会社
 コード番号 9852
 問 合 せ 先 常務取締役
 原 幸男
 TEL(03)3796-5075

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想について、平成 18 年 11 月 17 日付当社「平成 19 年 3 月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日)	102,600	810	680
今 回 修 正 予 想 (B)	95,719	251	207
増 減 額 (B A)	6,880	558	472
増 減 率 (%)	6.7	68.9	69.5
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	104,691	674	236

2. 平成 19 年 3 月期 単独業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日)	96,000	770	460
今 回 修 正 予 想 (B)	90,417	529	264
増 減 額 (B A)	5,582	240	195
増 減 率 (%)	5.8	31.2	42.5
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	95,752	148	611

3. 修正理由

単独では、既存店の前年割れや暖冬等の影響で、売上高が前回発表予想比5,582百万円減となりました。「高付加価値商品」の販売を強く推進した結果、利益体質の向上を実現することができましたが、売上高減少による利益の減少をカバーするに至りませんでした。結果、経常利益は前回発表予想比240百万円減の529百万円、また当期純利益は会計処理の変更により繰延税金資産を88百万円取り崩したことなども加わり195百万円減の264百万円となりました。

連結では、子会社の新商品の販売が計画通り推移しなかったことで、売上高が予想比6,880百万円減となり、単独と同様の理由によって経常利益が前回発表予想比558百万円減の251百万円、当期純利益は472百万円減の207百万円となりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上